

初期消火功労者へ感謝状を贈呈しました

湖南広域消防局

令和元年10月9日（水）草津市コミュニティ防災センターにおいて、西消防署長が初期消火功労者2名に対し感謝状及び記念品の贈呈を行いました。

本件は、令和元年9月21日（土）草津市西草津1丁目地先で発生した建物火災において、迅速な119番通報及び消火栓による初期消火活動を実施されたことにより、延焼拡大を防止するとともに、被害を最小限に留められたことから、その功績を称えたものです。



「火災調査事例発表会」を実施

守口市門真市消防組合消防本部

守口市門真市消防組合では、消防職員195名を対象に「近年の火災事例と対策」と題して火災調査事例発表会を行いました。火災調査の結果から判明した延焼経路、出火箇所、出火原因などを知ることで、出火防止対策の予防広報、火災現場の経験が浅い若年職員の育成という点で職員全体のレベルアップを図ることを目的としています。

今後も火災調査結果を有効に活用できるよう、継続して実施していきます。



消防通信 望楼 ぼうろう

親子消防教室を開催しました！

尼崎市消防局

尼崎市北消防署は、令和元年8月18日（日）に、尼崎市北消防センターで「親子消防教室」を開催しました。

この催しは地域の子供たちに消防という仕事を理解していただき、将来の地域防災を担う人材の育成に繋げると共に、市民に対して更なる防火意識の向上を推進することを目的として実施しました。

当日は、小学1年生～3年生の子供たちと保護者約70名に、梯子車の乗車や放水などの体験をしていただきました。

皆様からは、「火事の怖さを改めて知り勉強になった」、「いろんな事が体験でき、非常に良かった」、「梯子車に乗れるとは思っていなかった」など、様々な御意見をいただきました。

皆様からいただいた御意見を参考にし、今後はより多くの子供達が防火防災について楽しみながら学べる魅力ある催しにしたいと考えています。



救急特別研修「外国人対応訓練」を実施しました

奈良市消防局

奈良市消防局では「災害時における外国人とのコミュニケーション」をテーマとして救急特別研修を実施しました。消防局外国語対応職員による講義の後、奈良市教育委員会よりアドバイザーとして外国人講師をお招きし、翻訳アプリや情報収集シート等の言語ツールを使用しての外国人対応訓練を行いました。今後もこのような研修を継続して実施し、外国の方にも安心して奈良を訪れてもらえるよう取り組みを続けてまいります。



消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。

ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】